

6. 総合科学技術会議の役割

以上述べてきたように、内外の諸情勢を踏まえると、第3期基本計画において、政策目標の実現に向けた政府研究開発投資の一層効果的な活用や国民への説明責任の強化、さらには戦略的国際活動などの必要性が強まる。こうした必要性に応えるためには、司令塔としての総合科学技術会議の機能の充実・強化が求められることになる。その際、各省の縦割り排除の必要性、日本学術会議との「車の両輪」としての役割分担などを踏まえ、政策的な対応を図るべきである。

具体的な機能の充実・強化については、施策の具体化とともに検討を深めるべきであるが、次に掲げる項目は、本基本方針の内容から検討が求められるものである。

【機能の充実・強化の方向】

① 政府研究開発の効果的・効率的推進

- ・ 分野内の研究開発の戦略性の強化と年間政策サイクルの確立
政策目標とその実現に至る道筋の明確化、さらに、将来波及効果予測や我が国の強み弱みの分析、官民の役割分担等を踏まえた領域の絞り込みによる戦略の策定。最新の科学技術的知見を絶えず取り入れた「活きた戦略」を実現し、毎年度の資源配分方針に反映するための年間の政策サイクルを確立。
- ・ 優先順位付け（SABC）等の改善
科学技術関係資源の一層効果的な配分のため、より厳正な優先順位付けを実施。このため、優先順位付け等を行うに当たり、科学技術の観点に加え、国民に分かりやすい政策目標の観点を追加する等の改善を図る。
- ・ 独立行政法人等の科学技術関係活動の把握の強化
我が国の科学技術政策推進に重要な役割を果たす独立行政法人、国立大学法人等の科学技術関係活動の実施状況を把握、基本計画との整合性をチェックし、所見を提示。
- ・ 科学技術連携施策群の本格的推進
各府省の縦割りによる施策の不必要な重複排除、連携強化のための取組を概算要求前から本格稼働。さらに、予算編成、事業実施に向け連携を推進。
- ・ 上記の機能強化に伴う調査分析機能や府省間の調整機能の強化(科学技術成果の還元に向けた制度環境の整備促進を含む)

② 科学技術システムの改革の推進

- ・ 評価のためのルール作り、重要研究開発の評価、競争的研究資金の制度改革などの推進機能
- ・ 研究の重複や個人の適切なエフォート（時間配分の在り方）を超えた過度の集中を避けるためのデータベースの整備充実

③ 社会・国民に支持される科学技術

- ・ 政策目標の達成状況把握・国民に向けた発信
 - ・ 国民の科学技術への参加の推進
 - ・ 科学技術に関する情報提供・国民との窓口機能の拡充
- ④ 国際的取組の戦略化
- ・ ハイレベルでのアジア諸国との政策対話の推進